

「道内の感染状況等について（道案）」に対する主な意見

1 有識者・専門家等の意見

1-①

道案について異論なし。
デルタ株の感染力の強さ等について、また、ワクチン接種の有効性について道民に理解を深めるよう広報に努めていただきたい。

1-②

事業所、学校、飲食店の感染については、囲い込みを可能な限り行ってほしい。重症者の数を見れば、以前とは全く異なることと理解できるはずであり、基本的な感染予防対策を今こそ行うよう周知すべき。

事業所によっては、マスクをしてはいけないと指導したり、そうした事業所で集団感染が起きていると聞いたが、そのような事業所への指導はどのようにしているのか。こうした事例を一つ一つを潰していったら、集団感染の芽を摘むことが重要だと思う。

ワクチンについては、私も北海道ワクチン接種センターで問診業務を行ったが、派遣されている方々は皆さんきちんとやるべき業務を粛々と整然として素晴らしい対応であった。ぜひ、この体制を継続していただき、また、ワクチン接種が進んでいない自治体へは支援してもらいたい。

1-③

感染状況が悪化しているので、道民への啓発を引き続き、宜しく願います。

2 市町村・関係団体の意見

2-①

これまでの緊急事態措置やまん延防止等重点措置の適用では、ある程度人流や感染者数が抑えられていたが、ここにきて、感染者数が一向に減る様子が見られないのは、いわゆる「自粛疲れ」のほか、度重なる宣言による「危機感の希薄化」、五輪による「高揚感」などによって、人流が抑えられないことが要因の一つだと思われる。

これまで、国民の皆さんは、宣言中において「誰もが我慢をしているのだから自分も我慢をしよう。」という気持ちを持っていたと思われるが、今はそのような状況、雰囲気になっていないように感じる。

今一度、原点に立ち返り、誰もが少しでも我慢ができるよう、また、我慢の先には、こういった明るい未来があるというビジョンを示していただければ、国に対して要請していただきたい。